

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども音楽療育概論	講義	2	井本 英子
【授業のテーマ及び到達目標】			
心身に障がい（発達障がい・肢体不自由・知的障がい・視覚障がい・聴覚障がいなど）のあるこどもの発達や特性への理解を深め、音楽活動を通して心身の発達を促す音楽療育に関する基礎・専門知識を習得する。子ども音楽療育の意義や障がい児の発達過程について考え、音楽の本質・メロディー・リズム・ハーモニーについても考察し演習ができるように学習する。			
【授業の概要】			
こども音楽療育士資格の取得に向けて、基礎知識を習得する。実践内容のディスカッションやグループワーク、レポート提出も行う。			
【全体の授業計画・内容】			
1. ガイダンス・授業方針の説明等			
2. 音楽療育の意義			
3. 乳幼児・児童における心身の発達の理解1（発達の順序）			
4. 乳幼児・児童における心身の発達の理解2（言葉・コミュニケーション）			
5. 乳幼児・児童における心身の発達と音楽的発達の関係			
6. 乳幼児・児童における心身の発達とあそびとの関係			
7. 障がいと療育			
8. 障がい種別について1（発達障がい）			
9. 障がい種別について2（その他の障がい）			
10. 音楽の力1（メロディー・ハーモニー・リズム・音色等）			
11. 音楽の力2（記憶・運動・イメージ等）			
12. 音楽の力3（イメージ・創作等）			
13. 障がい種別における具体的援助方法1（3, 4歳児）			
14. 障がい種別における具体的援助方法2（5, 6歳児）			
15. 試験と振り返り			
【準備学習の内容】			
予習のあり方:さまざまな音楽に親しみ、障がいについても関心を持っておくこと。			
学習のあり方:自発的、積極的に参加すること。			
復習のあり方:授業での疑問点を整理し、理解を深めること。			
【成績評価】			
学習意欲及び授業内での習熟度（60%）、授業内試験（40%）			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
小テストやレポートには適宜コメントを記入或いは説明・指導をして返却する。			
【テキスト】			
適宜資料を配布する。			
【参考文献】			
授業内で紹介する。			